

記載例

活 動 計 画 書

活動組織の名称

計画策定日を記載

〇年〇月〇日策定

〇〇〇〇の森を守る会

森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

1. 組織名

〇〇〇〇の森を守る会

2. 活動組織の所在地

〇〇市〇〇1-2-3

様式第5号の活動組織規約の第1章総則（事務所）第2条と同じ。代表宅が事務所の場合、その住所の地番まで記載。

3. 地区の概要、取組の背景等・取組の概要、地元自治体、自治会、集落等のニーズに対応するなど、地区の活性化への寄与等

活動する森林は、昭和40年代に植えられたカラマツ林で、将来は炭鉱の坑木用と考えていたが、燃料の変化で相次ぐ炭鉱閉山により、用途が限られたこともあり、傾斜地のために手入れされない立地なことから長く放置されていた、このため森林は、密生して木は細く、風倒木等が多く発生した荒れ山となっている。このようなまま放置すると、山崩れの災害も考えられること等もあって、市役所にも相談して地域住民及び地域の関係者が話し合いにより、つる切り除伐、風倒木・枯損木の処理を進めることを決め、3年間はこの交付金事業で進めるために、「〇〇の森を守る会」を設立し、交付金終了後は、活動を継続するために、活動期間中の3年間で検討を進めることとしている。

※活動人員の確保・育成、活動経費の確保などについての取組を記載すること。

4. 取組概要

取り組む概要を記載のこと。

5. 構成員の概要

※構成員の居住地（どのような地域から参加しているか）、職種、経歴、所属団体等、構成員の多様性がわかるように記載すること。

- ・構成員の居住地（どのような地域から参加しているか）職種、経歴、所属団体等構成員の多様性が判るよう記載
- ・様式第5号の参加同意書（参加一覧表）に代わるものではない。構成員の具体的氏名は入れないこと。

下記記載の令和4年度面積 = 採択申請面積と(様式第2号)の申請面積

6. 年度別スケジュール

取組メニュー	4年度		5年度		6年度	
1. 活動推進費	現況調査・活動についての打合せ				活動推進費は初年度のみ。	
2. 実践活動						
A-1 地域環境保全タイプ (里山林保全)	倒木の処理 雑草木の刈り 払い、作業路 の整備	1.9ha	枯損木の伐採 枯損木の集積整理 枯損木の刈り 払い	1.9ha	枯損木の伐採 枯損木の集積整理 枯損木の刈り 払い	1.9ha
A-2 森林資源利用タイプ	作業路の整備 ・改修 広葉樹の伐採 炭焼き	0.5ha	しいたけ原木の 伐採・集積・搬 出・加工 薪原木・伐採・ 搬出・加工 炭焼き	0.5ha	しいたけ原木の 伐採・集積・搬 出・加工 薪原木・伐採・ 搬出・加工 炭焼き	0.5ha
C 森林機能強化タイプ (歩道や作業道の作設・改修等 の延長を記載)	活動区域面積での作業は、面積に対し交付 金を出すため、活動区域面積全体をまんべ んなく実施すること。				0m	
2-1 間伐等(除伐・枝打ちを含む)実施面積		1.9ha		1.9ha		1.9ha
人工林だけでなく天然林についても入れること						
2-2 活動を始める時点で長期に わたり手入れをされていなか ったと考えられる森林を整備 する面積		2.4ha		2.4ha		2.4ha
施業履歴等を確認する必要はなく、荒廃 している等の場所であれば面積を記入す ること。このとき、面積はおおよその面積 で記載し測量等を行う必要はない。						
D 関係人口創出・維持タイプ	里山林保全のための刈 り払い作業等の参加及 び意見交換会の実施		里山林保全のための刈 り払い作業等の参加及 び意見交換会の実施		里山林保全のための刈 り払い作業等の参加及 び意見交換会の実施	
3. 資機材・施設の整備等						
資機材・施設の整備の判 断基準は、北海道地域協 議会HP「事業に関するQ &A: 主な消耗品・資機 材の判断一覧」参照	(1/2以内)	刈り払い機1台 チェーンソー3台	チルホール1組			
	(1/3以内)					
	(1/3以内)	移動式簡易トイレ借 り上げ	移動式簡易トイレ借 り上げ	移動式簡易トイレ借 り上げ	移動式簡易トイレ借 り上げ	

※1 延長には森林調査・見回りを除く。

※2 2のCの森林機能強化タイプの森林面積については、スケジュールの期間内に地域環境保全タイプ又は森林資源利用タイプにより森林整備を実施する面積を記載する。

※3 2-2については、2年目以降はその前年度までの活動により該当する森林の整備を実施している場合はその森林の面積を除外し、その年度に新たに該当する森林の整備を実施する面積を記載

※4 資機材・施設の整備の1/3以内は、林内作業車、薪割機、薪ストーブ、炭焼き

※5 2のDの関係人口創出タイプについては、年度毎実施内容を記載する。

ガイドラインに基づき記載(選択する。)

7. 活動の目標と結果を測定するためモニタリング方法(地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプについて記載)

タイプ名	活動の目標	数値目標	モニタリング方法
地域環境保全タイプ	整備された明るいカラマツ人工林	相対幹距比〇%	100m ³ の円計調査区
森林資源利用タイプ	木材を持続的に生産し、利用することで、 里山林の景観を維持したい	薪の年間利用量〇m ³	薪の搬出利用量を計測

(注) 目標の設定及びモニタリング方法の記載については、別に定めるガイドランを参考とすること。

8. 年度別に実施する安全講習等の名称及び内容

年度	講習の名称	講習の内容
4年度	刈り払い講習 チェーンソー講習	刈り払い機安全衛生教育、チェーンソー講習 地域協議会の講習に参加し、伝達研修を実施 講師:〇〇活動組織 代表 △□□△
5年度	刈り払い講習 チェーンソー講習	刈り払い機安全衛生教育、チェーンソー講習 地域協議会の講習に参加し、伝達研修を実施 講師:〇〇活動組織 代表 △□□△
6年度	刈り払い講習 チェーンソー講習	刈り払い機安全衛生教育、チェーンソー講習 地域協議会の講習に参加し、伝達研修を実施 講師:〇〇活動組織 代表 △□□△

9. 安全のために装備する物品及び傷害保険の名称

安全装備: 会員及び参加者に例外なくヘルメットを着用させる。
チェーンソーを操作するものは、ゴーグル防護具、防振手袋等は必ず着用させる。

傷害保険: 〇〇保険会社 〇〇保険

10. 4年目以降の活動(森林管理)計画

活動組織が中心となり、森林所有者と協力しながら、林産物の出荷により活動資金を調達し森林の維持管理活動を行う。

11. 計画図(協定の対象としている区域の図面)

取組の実施箇所の森林計画図を添付すること。森林計画図がない場合は、対象森林の面積が分かる縮尺5,000分の1以上の図面を添付すること。添付した図面に、計画期間中の各タイプの活動内容及び森林経営計画の策定の有無を図示すること。また、森林機能強化タイプにおいては、改修等を実施する路網や鳥獣被害防止柵を図示すること。

12. 持続性向上に向けた取組

今後は、地区の若者に活動の呼びかけるほか、SNS等により活動人口を確保する。
活動経費の確保については、林産物の出荷に向け、販売先の確保を行うほか、新たな森林利用について年1回以上の研修会に参加する等、活動の維持向上を行う。

※活動する人材の育成や確保、活動経費の確保など、活動組織が本活動計画終了後も活動を継続していくために行おうとする取組について記載する。

13. その他

(1) 写真

(様式第4号)
で整理。

取組の実施箇所に長期わたり手入れをしていなかったと考えられる里山林がある場合はその写真を添付すること。

(2) 収入

収入は、会費、資機材等を導入する場合の自己財源等を記載。

会費、林産物収入など森林・山村多面的機能発揮型活動の収入

項目(費目)	内 容	年間収入見込額 (円)
会費	月500円×〇月×〇人	〇〇〇〇〇
資機材の自己財源	会員1人40,000円×会員5人=200,000円	200,000
林産物販売	薪〇〇円、炭〇〇円、スエーデントーチ販売〇〇円	〇〇〇〇〇

(3) 委託

活動計画における取組についての委託

・委託機関名

〇〇森林組合

・連絡先(電話番号等)

〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

・委託時期

〇年〇月

・委託内容(委託する区域の林小班、委託業務の内容(面積、作業の内容)等)

〇△林班〇小班 の掛かり木処理〇本処理

・委託金額

20,000円

2業者以上から見積書を徴収し添付。

※ 活動を作業委託する場合は、活動組織としての活動(作業の監督や林内の見回り等)を活動計画の中で必ず明記すること。